

第21回生涯学習フェスティバル

令和7年10月25日(土)、第21回生涯学習フェスティバルがクリエイイトホールで開催されました。当日は朝から雨が降り、肌寒い1日でしたが、延べ3,214人が来館し、いろいろな催し物を楽しみました。

11団体が展示や体験コーナーを実施し、子ども向けには4種類の工作が用意され、2本の映画が上映されたほか、育児講座も開催されました。

共催団体であるNPO法人八王子生涯学習コーディネーター会は5月から始まった検討会(全6回)に出席し、当日は18人の会員がスタッフとして総合案内とステージ発表サポートを担い、生涯学習フェスティバルの実施に協力しました。



全体朝礼

展示



多文化共生の集い



陶芸 作品展示と絵付・作陶体験



連珠 AI ロボットと対戦

キッズコーナー

多くの親子連れで
にぎわいました。



楽器作り

スタッフの声

「大変盛り上がって
いて楽しそうでした」



ハロウィン工作

動物ペーパークラフト



木の実クラフト



ステージ発表 団体や個人、25組が
パフォーマンスを行いました。



第21回生涯学習フェスティバル スタッフの活動

今回のフェスティバルはステージ出演数が多く、終了時刻が遅くなると想定されていました。スタッフの負担を考慮し、前半と後半に分かれ、交代制で総合案内とステージ発表サポートを担当しました。当会では初めての試みで、スタッフ全員が揃って全体朝礼に臨み、終礼でお互いをねぎらうということはありませんでしたが、スタッフは概ね4時間ずつ、集中してそれぞれの業務に当たりました。



前半担当スタッフ



前日準備



片付け

総合案内

プログラム配付や問い合わせ対応のほか、シールラリー景品交換のサポートも行いました。



スタッフの声

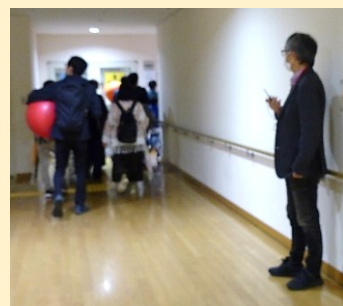
「生涯学習フェスティバルに初めて参加しました。生涯学習活動の幅広さと、出展・出演者の皆さんの熱心さに触れ、とても新鮮な感動を得ました」

ステージ発表のサポート

トランシーバーで連絡を取り合いながら、ステージ出演者が使う控室の管理や出演者の誘導を行いました。ステージの円滑な進行に欠かせない役目です。

スタッフの声

「出演者の皆さんから感謝の言葉をいただきました」



令和7年度出張体験講座

当会は八王子市教育委員会(所管は放課後児童支援課)から出張体験講座事業を受託しており、今年度は15か所の小学校で実施する講座のコーディネートを行うことになっています。10月中旬までに6講座を実施し、当会会員が準備や工作サポートなどのスタッフ業務に当たりました。残り9講座についても安全に実施できるよう努めます。

<今年度の実施講座>

「将棋をおぼえよう」「吹矢体験」「スーパーボールロケットを作ろう」「ミュージカル超入門」「よく回るカラフル CD コマを作ろう」「はじめてでもできる! 超入門 K-POP ダンス」「火起こし体験」「藍染め体験」「ドラムサークル」「後北条の忍者 体験講座」「エコクラフトのかごづくり」「遊びの玉手箱」



交流事業～府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」訪問～

10月13日、府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」との交流事業を実施し、合わせて「悠学の会」が企画・運営に関わっている第32回府中市生涯学習フェスティバルを見学しました。府中市生涯学習センター(府中市浅間町)は最寄り駅から徒歩17分という立地ですが、多くの人でにぎわい、2日間にわたって開催されるフェスティバルにはかなりの数の方が訪れるのだらうと思いました。

「悠学の会」との懇談会では活動状況や課題を伺い、また、事務室として使用している生涯学習センター内の一室を見せていただき、見学会参加メンバーから「うらやましい」との声がしきりに上がっていました。



フェスティバルで「悠学の会」が行っているリサイクル本のチャリティーバザー



「悠学の会」の田頭さん・奥野さん・井口さんとコーディネーター会の7人



「悠学の会」の事務室

NPO 法人八王子生涯学習
コーディネーター会
主催講座のお知らせ



「第2回 八王子和歌文学講座」
和泉式部日記冒頭の和歌を新しく読み解きます。
令和7年12月20日(土)
13時30分から
会場：クリエイイトホール 視聴覚室
お申込みお待ちしております

コーディネーターズ オピニオン

シニアの志

22期生 青木 英高

「吉田松陰」(幕末の思想家・教育者、「松下村塾」塾長)は「あなたの志は何ですか」と門下生にいつも尋ねていたそうです。自分の人生を振り返るに、五十年間ただひたすら「利益追求」を求めて必死に働いてきました。一生懸命やってきたのは良いのですが、自分の人生に残したことが「利益追求の人生」だけではとても寂しく感じたのです。しかし今更人に使われるのもいやだし、土地なし・工場なし・従業員なし・資金なし・銀行支援なしで、何にもないんです。しかし世の中、「デジタル」がすごい速度で社会に広がりつつあり、「デジタル」に囲まれて生活する必要があります。このデジタルに困っている人達、特にシニアの方々が困っているとよく見聞します。よし「デジタルで困っている人を助けに行こう」と「志」を見出したわけです。

「志」を同じくする有能な仲間とともに、「デジタルお助け侍(サムライ)」が半年前に誕生しました。しかし、まず問題になるのが「先立つものがない」現実です。八王子市から補助金十万円を頂き活動を始めたわけです。現役時代には気にもしなかった少額費用を心配する必要が出てきました。すなわち「利益追求の人生」から脱却したはずがまた「銭ズラ人生」に舞い戻りそうで、「志」はどこにいってしまうのでしょうか。

「意志があれば道は開ける」(Where there is a will, there is a way.)と信じて、「デジタルお助け侍(サムライ)」の志は
いかに、乞うご期待!!

「デジタルお助け侍(サムライ)」のHPはこちらから



七泊八日で中国へ

22期生 清水 貞男

気功・導引養生功(どういんようじょうこう)は、ゆったりとした動作、腹式呼吸と経絡ツボが気血を導き、自律神経を整えて五臓六腑の機能を高め、免疫力と自然治癒力を向上させ、健康の保持と高血圧、糖尿病等の生活習慣病を予防、健康寿命を延ばす健康法。経絡学説、気血及び陰陽五行論が組み込まれています。



今年の3月下旬、創始者・張廣徳先生の北京八達嶺長城霊園を墓参し、その後、唐山・遷安での国際交流大会(講習会、パーティー、競技大会)は日本の28名を含めて14カ国から約300名の愛好家が集まり、3日間は気功三昧で充実し、この気功の素晴らしさを改めて実感、今後の普及活動に力を頂きました。

海外出張時では殆ど出来なかった観光でしたが、万里の長城の起点「老龍頭」へも行き、今迄に無かった長い留守を容認し(諦め?)、出発時には忘れたパスポートを駅まで届けてくれた透析中の妻に感謝しています。

ボッチャ交流が教えてくれる学び

23期生 鎌田 哲弥

初めてボッチャ大会を開いた日、年齢も経験も違う人が同じ歓声でつながる瞬間に立ち会いました。いま私は、ボッチャをきっかけとした、地域の交流イベントを企画・運営してい



ます。コートでは、プレーする、見守る、記録する、応援する——どの人にも出番・役割があり、「高齢だから」「障害があるから」といった“壁”は感じません。気づけば違いはそのままに、笑顔が一つの輪になって広がります。ニュースでは時々、「認知症の方が」「障害のある方が」など、当事者の困りごとが“壁”として紹介されることがあります。ただ、こういった交流現場を目にすると、“壁”となっているのは当事者をめぐる周囲の向き合い方や生活環境にも由来しているのではないかと感じてしまいます。お互いを尊重し合える地域の正しい答えはわかりませんが、これからも誰もが笑顔で一体となれる交流の場を育てながら、私自身も学び続けていきたいと思っています。

編集後記

10月は出張体験講座が4件と生涯学習フェスティバルがあり、多忙な1か月でした。

同時進行でいろいろな準備を行う時には、見落としがないように To Do リストを作ってチェックを入れるようにしていますが、手配済みだと思い込んで着手するのが遅れ、慌てたことがありました。ミスは起きるものだという事を忘れず準備に当たっていこうと思います。

さて、今年も残すところ2か月。寒さも増していきます。少々気が早いですが、健康第一で年末年始を迎えましょう。

★事業推進会議のご案内

- ・日時 毎月 第1土曜日 14時～16時
- ・会場 クリエイトホール 11F第7学習室

★会報は年2回(7月・11月)発行

- ★二次元コードからホームページ
モバイル版を閲覧できます。



NPO 法人八王子生涯学習コーディネーター会
会報第56号 発行責任者:大倉弘美
cokai802@yahoo.co.jp
TEL 080-6631-3034